

企業向けワークショップ

OSPO レベル 1 構築ワークショップ

募集要項

OSPO レベル 1 への第一歩。

自社のオープンソース推進を見える化し、実践へ繋げる。

2025 年 9 月 4 日



独立行政法人 情報処理推進機構
Information-technology Promotion Agency, Japan

目次

ワークショップの目的.....	3
ワークショップ概要	4
ワークショップの進め方.....	6
講師・メンター紹介	8
イベント行動規範	10
IPA 主催オープンソース推進イベントにおけるグランドルール	10
IPA 主催オープンソース推進イベントにおけるアンチハラスメントポリシー.....	12
イベントの記録に関する注意事項.....	13
お問い合わせ先	14

ワークショップの目的

本ワークショップは、企業がオープンソースソフトウェア（OSS）を「安心して使う」ための社内体制、すなわち「OSPO(Open Source Program Office)*レベル 1 の状態」を整えることを目指します。単に答えを教えるのではなく、参加者自身が考え、自社に最適な OSS 活用推進の考え方を習得し、具体的なドキュメント作成に繋げる実践的なプログラムです。

参加を通じて、以下を目的とします：

- 自社に最適な OSS 推進体制の構築に向けた知見の獲得
- IPA 提供のテンプレートを活用したポリシーやガイドライン等の社内ドキュメント作成
- 他社との意見交換を通じた課題解決およびネットワーク形成

こんな方におすすめします

- OSS の社内活用や管理に初めて取り組む方、またはこれから体制を整備したいと考えている方
- OSS の利活用を推進したいが、何から手をつければ良いか分からない担当者やリーダー層
- OSPO の概念や、社内におけるその役割について、基礎から実践的に学びたい方
- OSS に関する専門知識は現在不十分でも、自社の OSS 推進に意欲的に貢献したいと考えている方
- 他社の事例や考え方を参考にしながら、自社独自の推進計画を具体的に描きたい方

* OSPO(Open Source Program Office)：企業や組織において、OSS を効果的かつ安全に活用し、管理し、貢献するための専門部署やチームのことです。OSPO は単なる管理部門ではなく、OSS を通じて社内外とつながり、共創や技術革新を推進する「橋渡し役」としての役割も担っています。「レベル 1」とは、企業として OSS がビジネス戦略及びテクノロジー戦略の重要な部分であることを認識し、OSPO を組織する段階に到達することを意味します。

ワークショップ概要

参加のメリット・効果

- **自社における OSS 推進の明文化と体制整備**：業務での OSS 活用・管理に関する社内方針・ガイドラインの基盤整備に直結
- **行動計画の具体化**：実践的な行動計画を策定し、部内で展開可能
- **他社の事例・ノウハウの取得**：同様の課題を持つ企業とのディスカッションにより、自社にとって実行可能な戦略を抽出

実施概要

項目	内容
イベント名	OSPO レベル 1 構築ワークショップ
主催	独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
協力	The Linux Foundation TODO Group
形式	全 3 回の対面式ワークショップ ※オンラインはありません。
対象	OSS 活用体制をこれから整備したい企業の担当者・リーダー層
定員	会場参加のみ／先着順 10 社程度（1 社あたり 4 名までのチームで参加） ※組織単位での募集となります。 ※会場のキャパシティを鑑み、最終的な参加組織数は前後する予定です。 ※ワークショップ全 3 回すべての参加が条件となります。
費用	無料（会場までの交通費はご負担ください）
会場	独立行政法人情報処理推進機構 東京都文京区本駒込 2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス 13 階 ※変更が生じる可能性があります。

スケジュール（予定）

回数	日時	時間
第 1 回	2025 年 11 月 6 日（木）	15:00～17:00
第 2 回	2025 年 12 月 2 日（火）	15:00～17:00
第 3 回	2026 年 1 月 22 日（木）	15:00～17:00

※各回終了後（17:00～17:30）に任意の相談会を開催予定です。

※2026 年 2 月以降にワークでの成果や気づきを発表・共有する場を設けます（日時と会場は後日調整）。

エントリー方法・期間

2025 年 10 月 16 日（木曜日）15 時 00 分受付開始予定

※詳細は IPA 公式ウェブサイトをご確認ください。

その他特記事項

- 全 3 回参加が必須条件です（欠席不可）。
- ワークショップの様子を主催者側が撮影し、IPA ウェブサイト上での開催報告やその他資料として活用（外部への公開を含みます）いたします。
- チャタムハウスルールおよびアンチハラスメントポリシーに基づいた安全な議論の場が提供されます。

ワークショップの進め方

ワークショップ 1 回分の流れを説明します。

ワークショップで使用する「OSPO スターターキット」とは、IPA が提供する「組織が OSS に取り組む際に必要になるポリシーやガイドライン等ドキュメントのテンプレート集」です。ガイドや解説、実際の運用に近い観点における考慮事項などが網羅されるように設計されています。ワークショップではスターターキットを元にして、穴埋めをした上で社内にリソースを展開することにより「OSPO」としての役割が始まることを目指します。

1. テンプレートの説明と進め方のオリエンテーション

「OSPO スターターキット」の概要を説明します。

ワークショップの目的、ゴール、効果的な取り組み方について共有し、スムーズな活動開始をサポートします。

2. テンプレート項目内容の講義とパネルディスカッション

テンプレートの各項目について、その内容と自社に合わせた調整ポイント（テーラリングポイント）を講義形式で解説します。

各回、テンプレート項目内の特定のテーマ（例：ライセンス管理、コミュニティ貢献、組織体制など）に焦点を当て、外部の有識者をお招きしたパネルディスカッションを実施。項目を検討する上での具体的なアドバイスや実体験を共有いただき、参加者が実践的な知見を深めます。

3. テンプレート埋め込みワークと行動計画策定

講義とパネルディスカッションで得た学びを活かし、参加者自身がスターターキットのテンプレートを埋めていく実践的なワークを行います。

自社に必要な要素を検討し、次回のワークショップまでにドキュメントを完成させるための具体的な活動（宿題）をアウトプットします。

4. 行動宣言とネットワーキングタイム

参加者各自が、ワークショップでの成果や学び、具体的な行動アウトプットについて発表し、「行動宣言」を行います。

発表内容を元に、参加者同士が企業や組織の枠を超えて活発に意見交換・議論を行います。
参加者同士、講師、運営スタッフとの交流会（ネットワーキング）を通じて、学びを深め、
今後の活動に繋がる人脈形成の機会を提供します。

講師・メンター紹介

メンター

服部 佑樹（はっとり ゆうき）氏



GitHub Japan Customer Success / Sr. Architect

The InnerSource Commons Foundation President

主に GitHub の企業向けの技術的な支援を実施。日本国内において GitHub Copilot の普及を積極的に推進している。また、オープンソースの文化やプラクティスを企業内に導入し、企業のサイロを解消する「インナーソース」の普及にも力を入れている。この活動を通じて、非営利団体である InnerSource Commons Foundation のプレジデントを務めており、インナーソースの世界的な発展に貢献している。著書に「コード×AIーソフトウェア開発者のための生成 AI 実践入門」「DevOps Unleashed with Git and GitHub」がある。

渡邊 歩（わたなべ あゆみ）氏



株式会社日立ソリューションズ シニア OSS スペシャリスト・日立 OSPO メンバー

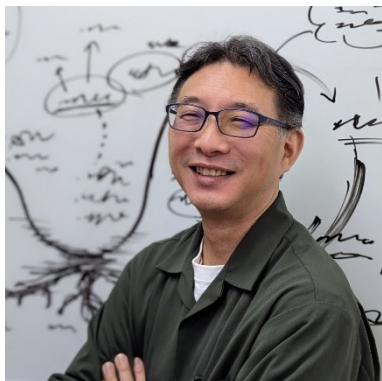
The Linux Foundation Japan エバンジェリスト

日本企業における OSS 活用推進や SBOM 対応のためのプロセス定義やポリシー策定などのコンサルティングを担当。知識・経験の共有と繋がり構築をテーマに、OSS コミュニティ活動や講演等の情報発信を通じて、組織の枠を超えたコラボレーションの創出と推進

に尽力している。The Linux Foundation OpenChain Japan Planning リーダーも務める。

ファシリテーター

ガオリユウ氏



Dialogue Design

開発ベンダー、公共系 SIer、ソーシャルゲーム企業にてシステム開発や研修講師に従事。その後独立し、研修内製化の支援、顧問ファシリテーターを企業向けに展開。現在は内製化支援コーチとしてチームが主体性を持った活動ができるようファシリテーションとコーチングを活用したアプローチで支援を行っている。

他、講師の招へいを予定しています。

イベント行動規範

本ワークショップでは、以下の行動規範を適用しています。

本ワークショップに参加することにより、以下に記載されている行動規範を遵守することに同意するものとします。

- IPA 主催オープンソース推進イベントにおけるグランドルール
- IPA 主催オープンソース推進イベントにおけるアンチハラスメントポリシー

IPA 主催オープンソース推進イベントにおけるグランドルール

本グランドルールは、IPA 主催オープンソース推進イベントにおいて、オープンソースに関わる多様なバックグラウンドを持つ人々が一堂に会し、対話を通じて相互理解を深め、具体的なアクションに繋がるような議論を促進することを目的としています。

イベントは参加者一人ひとりの対話と貢献によって創られます。安全で開かれた、そして実りある対話の場をみんなで作っていくために、以下のグランドルールを共有し、実践していきましょう。

お互いをリスペクトしよう

どんな意見やバックグラウンドも大切に。相手の立場や考えを尊重し、違いも面白がってみましょう。

積極的に耳を傾け、心を開いて話そう

他の人の話を注意深く聞き、自分の感じたこと、考えたことを率直に話してみましょう。一方的にならず、対話を楽しみましょう。

「どうすればもっと良くなる？」の視点を持とう

課題や難しいテーマでも、誰かを責めるのではなく、「私たちに何ができるか」「どうすれば改善するか」という前向きな視点で話し合いましょう。

安心して話せる場を大切に

ここでの対話で知った個人的な情報や、場を離れて共有すべきでない内容は、大切に扱いましょう。みんなが安心して発言できる雰囲気作りを心がけましょう。

イベントの時間を有効に使おう

タイムキーパーや進行役の案内に協力して、限られた時間をみんなで有効に使いましょう。

議論の原則：チャタムハウスルール*

イベントにおけるパネルディスカッションやグループディスカッション、ネットワーキングなど、議論が行われる全ての場において、チャタムハウスルールを適用します。このルールの目的は、参加者の皆様が**安心して、より自由で建設的な意見交換を行える環境を確保すること**です。

許可されること

議論の内容、そこで得られたアイデアや意見、情報は自由に引用し、共有できます。議論から得た学びを、ご自身の業務や社内で活用することができます。

禁止されること

「〇〇社の△△さんがこう言っていた」「(個人名) が●●だと主張していた」など、発言者や参加者の名前、所属、識別可能な情報を外部に公表すること。議論の内容を、発言者と紐付けて SNS やブログ、記事などで公開すること。

* チャタムハウスルール： このルールが適用される議論の場では、そこで得られた情報や発言の内容を自由に利用することができます。しかし、その発言を行った人物が誰であるか、あるいは参加者個人の身元や所属を外部に明かすことは固く禁じられています。

IPA 主催オープンソース推進イベントにおけるアンチハラスメントポリシー

本ポリシーの目的と適用範囲

本ポリシーは、IPA 主催オープンソース推進イベントにおいて、すべての参加者が安心して建設的な交流を行う場を提供することを目的としています。

イベント会場内での言動だけでなく、イベントに関連したコミュニケーションや、SNS・ブログ等での情報発信も本ポリシーの適用範囲とします。

対象者

イベントに関わる全員（参加者、登壇者、運営スタッフ、イベント協力者など）を対象とします（本ポリシーでは総称して「参加者」と表記）。

ハラスメントに該当する事項

参加者に対するハラスメント行為はいかなる場合でも容認しません。

ハラスメントには以下の行為が含まれますが、これらに限定されません。

- 人種、性別、性的指向、障がい、外見、身体の高さ、国籍、宗教などに関する差別的な言動
- わいせつな、あるいは性的な内容を含む言動
- 他の参加者に対するつきまとい、嫌がらせ、または脅迫
- イベントの運営を妨害する行為
- 上記の行為を無視、奨励、または擁護すること

容認できない場面に遭遇した場合

万が一、他の参加者の行動によって不快な思いをされた場合、または本ポリシーに違反する行為を見聞きした場合は、イベント運営スタッフにお知らせください。参加者の心理的、身体的な安全を確保するために適切な支援を行います。

また、ハラスメント行為を止めるように要請された参加者は、イベント運営スタッフの指示に従うようにしてください。

イベントの記録に関する注意事項

参加にあたっては以下の注意事項についてご了承くださいますようお願いいたします。

- 講義部分を主催者側が撮影・記録させていただく場合がございます。撮影した講義部分の動画等は、後日配信される可能性があります。
- イベントの様子を主催者側が撮影させていただく場合がございます。撮影した写真及び動画（参加者が被写体となったものを含みます）は、IPA オープンソース推進の広報活動を目的として、IPA ウェブサイト上での開催報告やその他資料として活用（外部への公開を含みます）いたします。
- イベントの開催前・開催中・終了後に、マスコミ各社による取材活動が行われることがあります。その場合、会場にいるみなさんの顔や姿が映り込む場合があります。

お問い合わせ先

IPA デジタル基盤センター セミナー事務局

E-mail: disc-info@ipa.go.jp

企業向けワークショップ

OSPO レベル 1 構築ワークショップ 募集要項

<https://www.ipa.go.jp/event/2025/ospo-workshop20251002.html>

2025 年 9 月 4 日

独立行政法人情報処理推進機構

©Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

<https://www.ipa.go.jp>